

意見書

次の意見書（4件）を採択しました。

子ども医療費助成の制度化を求める意見書

子どもの医療費助成は、地方単独事業であるため地域間格差が生じて国保の国庫負担金が減額調整されている。

子育て支援の観点から全ての子どもを対象とした医療費助成制度を早急に制度化するよう強く要望する。

「患者申出療養」の適切な運用を求める意見書

国内未承認の医薬品等を迅速に保険外併用療養として使用したいと言う患者の思いにこたえるため新たな保険外併用療養の仕組みとして創設された「患者申出療養」運用基準の策定に当たり適切な措置を講ずるよう強く要望する。

①先進医療も含め安全性や有効性の確認された薬や医療技術は、速やかに薬事承認、保険収載を行うこと。

②「患者申出療養」は高度の医療技術を用いた治療の実現を可能とするもので、臨床研究中核病院の体制整備を図ること。

③重篤な有害事象発生時の対処については、公的な救済制度の適用などについて十分検討すること。

北方領土問題の解決促進等に関する意見書

北方四島の早期返還の実現を求める国民の総意と心情にこたえ、日口両国間において今日までに達成された諸合意に基づいて、早急に北方領土問題を解決し平和条約を締結するための強力な外交交渉を進めるとともに、適切な措置を講ずるよう強く要望する。

総理大臣による北方領土隣接地域からの視察を実現するなど、返還要求運動の一層の促進を図ること。

②「北方領土問題等の解決の促進の為の特別措置に関する法律」に基づく北方領土隣接地域の振興対策等を促進すること。

③北方四島交流事業（ビザなし交流）、北方参加事業及び自由訪問事業の実施団体に対する支援措置を強化するとともに、各事業の円滑な実施を図ること。

ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書

脳脊髄液減少症は、交通事故、スポーツ外傷等、身体への強い衝撃により脳脊髄液が漏れ、頭痛、めまい、吐き気、倦怠感等の様々な症状が発症する病気です。症状は外見には見えないため、患者及び家族は肉体的、精神的な苦痛を味わってき

平成19年に厚生省研究班を立ち上げ、平成23年脳脊髄液減少症の一部である「脳脊髄液漏出症」の診断基準が定められました。平成24年には、ブラッドパッチ療法が「先進医療」として承認され、治療の有効率は82%と報告された。

①脳脊髄液減少症の治療方法であるブラッドパッチ療法「硬膜外自家血注入療法」を保険適用すること。

②厚生労働省の研究事業において、18歳未満の症例を加えること。③脳脊髄液減少症の早期発見・早期治療のため、医療関係機関への情報提供を徹底すること。

議長室からこんにちは

3月は長かった冬の辛い季節から幾分解放され、ひな祭り、春分の日、卒業シーズンなどで賑やかになる季節の訪れを感じます。

3月26日、待望の北海道新幹線が開業します。「物語が始まる北海道新幹線」開業を前に試乗会に参加する機会をいただきました。新函館北斗駅は広々とした道路などがひろがり、駅舎は開放的なガラス壁面に道南杉が利用され天井も高く



広々と北海道の玄関口に相応しい建物です。発車1時間前には乗車して普通車のみで見学でしたが、足を十分に延ばせる座席で、定刻の午後1時20分に新函館北斗駅を滑るように発車、函館湾、函館山がくっきりと見え、最高時速260キロでの運転は、揺れ、振動はなく13分で木古内駅に到着しました。新函館北斗駅・木古内駅のこの区間は46%がトンネルです。やはり景色が何よりで、到着直前には津軽海峡が車窓に飛び込んできました。木古内駅前には道南9町の窓口として観光交流センター「みそぎの里」がオープンし、江差・松前方面のバス拠点として多数発着していたり、更に地方の旬の味を集めたレストランなどが観光拠点として賑わっています。2030年北海道新幹線「俱知安駅」が開業しますが、羊蹄山麓ばかりではなく本当の意味での「後志の玄関口」としての役割は大きいと思います。

3月は新年度に向う大事な議会があります。議員は地方議会の大切な役割の一つである行政機関を監視するという役目を忘れる事なく果敢に議論を尽くしてまいります。どうか傍聴、インターネットにて皆さんも参加してください。また議会改革の一環として町民の皆さんとの「まちなか懇談会」「議会報告会」などもスタート致しますので合わせて関心をお持ちください。

俱知安町議会議長 鈴木保昭